

峠の釜めし (昼食)

約55年前、おぎのや会長である故・高見澤みねじが、自らホームに立ち、旅行者ひとりひとりに駅弁へのご意見・想いを聞いて回り「峠の釜めし」が誕生。

1950年代、あたたかいまま食べられる「峠の釜めし」は、常識をくつがえす画期的な駅弁でした。その後「峠の釜めし・ドライブイン (現荻野屋横川店)」を開設。今でも店内で旅の疲れを癒すやすらぎと味わい深い思い出を提供しています。



碓氷関所跡見学

醍醐天皇の昌泰2年(899年)に群盗を取締るために、関所が碓氷坂に設けられました。

この地に関所が移ったのは、元和年間(1615~1623年)といわれ、幕藩体制を中心とした、徳川幕府の確立・安定という政治的意味をもつものとなり、いわゆる「入鉄砲に出女」の取締りをねらいとしたものになりました。明治2年(1869年)廃関されるまで中山道の要所となります。

門柱および門扉は当時使用されていたもので、総ケヤキ材の要所に金具を用いた堅固なものです。ほかに屋根材六点和台石も当時のもので、昭和34年1月東京大学教授工学博士藤島亥治郎氏の設計により復元されました。

